

空土ファーム生きもの調査 8月報告書

1. 調査の概要

1) 調査の目的

山梨県北杜市須玉町増富地域にある空土ファームの耕作放棄地を再耕作することにより、生物多様性がどのように変化するか、周辺環境も含め調査を実施する。また、その調査結果をもとに、一般向け自然観察会の実施や、ハンドブック作成も視野に入れる。

2) 調査方法

①調査レベル：主任研究員クラスによる現地調査

②調査地：山梨県北杜市須玉町増富地区「空土ファーム」とその周辺緑地（図-1）

今回の調査では、4カ所の調査地点を設定し、確認された生きものはどの調査地点で確認されたかを記録した。

③調査対象：鳥類、チョウ・トンボ・バッタ類等の大型昆虫類を中心に、姿・声・行動等を確認すると共に写真撮影を行う。両生類、は虫類、ほ乳類等は適宜調査する。

④調査日程：2019年8月22日 10:00～16:00

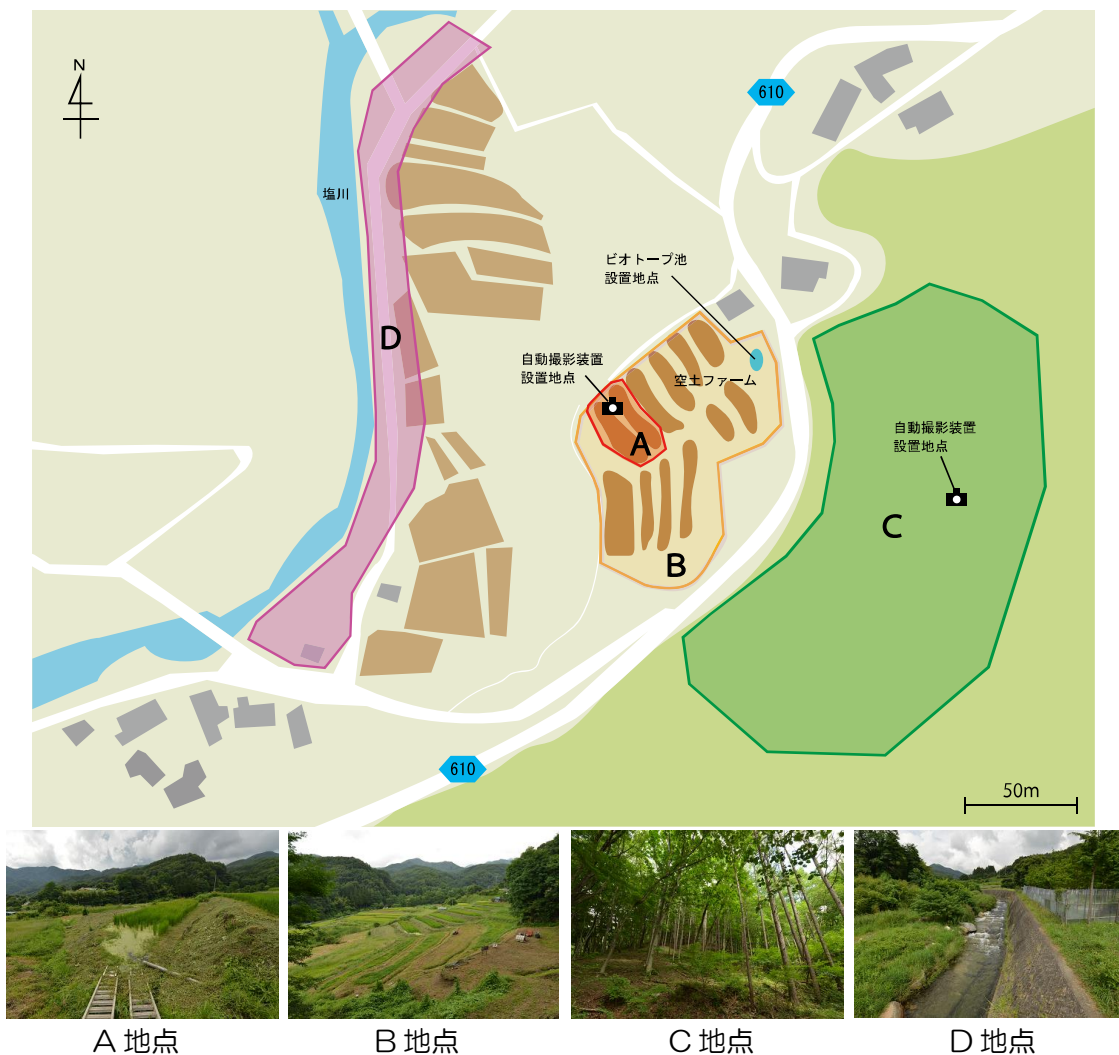


図-1 調査地全景および調査地点

2. 自動撮影装置の設置

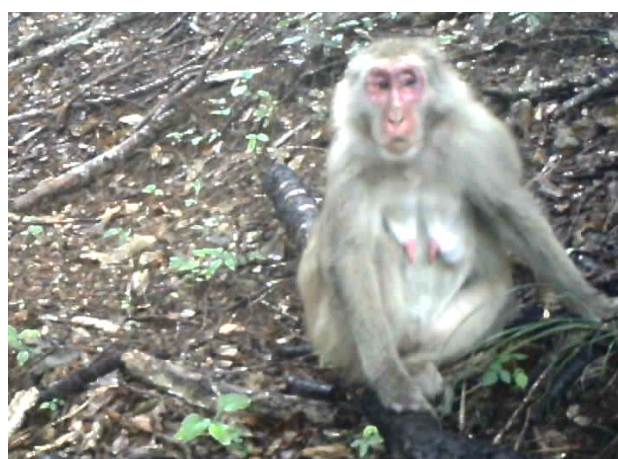
C地点に自動撮影装置を設置し、夜間に活動する哺乳類などの記録を行った(図-2)。なお、今回の調査では哺乳類であるニホンアナグマ、ニホンザル、ニホンジカ、ホンドギツネ、ホンドタヌキを記録することが出来た(図-3)。



図-2. 設置された自動撮影装置の様子



ニホンジカ



ニホンザル



ホンドギツネ



ニホンアナグマ

図-3. 自動撮影装置で記録された生きもの

3. 空土ファームで見られた生きものたち

1) 空土ファーム 生きものピックアップ

ツチアケビ (C 地点) :

今回の調査では、C 地点の山地で、山梨県のレッドリストで「絶滅危惧 I B 類 (EN)」に指定されているツチアケビが記録されました。ツチアケビは菌類と共生して栄養素を取り入れる腐生植物の仲間です。そのため、葉緑素がなく、葉っぱも生えてきません。写真のツチアケビは果実をつけているところですが、食用にはならないそうです。



ツチアケビ

2) 各調査地で見られた生きものたち



コノシメトンボ (B 地点)

水田や、住宅地のまわりだとプールなどの水辺で見られるトンボのなかまです。



マユタテアカネ (C 地点)

周囲に樹林のある水辺で見られます。撮影時も C 地点の樹林の湿地で見られました。



オオカマキリ (B 地点)

塩川沿いに広がる草地で複数個体見られました。草地にいるバッタやチョウの仲間を食べます。



ミヤマチャバネセセリ (D 地点)

ススキやヨシなどのイネ科の植物に産卵します。草原環境の悪化により数が減っているとされています。



ムネアカオオアリ (D 地点)

山地でよく見られる大型のアリです。アレチウリの花の蜜を吸っていました。



コアシナガバチ (D 地点)

フェンスなど、様々な人工物に巣をつくっている姿が見られました。



アレチウリ (D 地点)

川沿いの草地などで大量に繁殖する外来種です。他の植物を葉で覆うようにして増えます。



ツリフネソウ (B 地点)

花にはマルハナバチの仲間など、多くの昆虫が飛来します。

3) 空土★生きものコラム ～昆虫界屈指の?擬態の名人～

今回の調査開始前、車の横で調査道具などの準備をしていた時、車のボンネットから「コンッ」と音がしました。音の方を見てみると、ボンネットの上に何やら棒状のものが、よく見るとそれはエダナナフシというナナフシの仲間でした。見た目は枝そっくりでしたが、さすがにボンネットの上ではすぐに分かってしまいました。

このナナフシは普段、サクラやコナラなどの葉を食べるため、枝の上でじっとしていることが多く、見つけることが難しい昆虫です。バッタやカマキリなどもうまく擬態をして、相手から身を隠します。しかしナナフシの仲間はさらに巧みで、風にゆらぐ枝を再現するかのようになり、体を左右に揺らしたりします。ここまで見事に枝になりきると、あっぱれというしかないですね。

皆さんのまわりにも、ナナフシだけでなくバッタやガの仲間など、擬態上手がたくさん隠れていますので、ぜひ探してみてください。



エダナナフシ (C 地点)

4. 調査結果

表. 調査地内で見られた生物種(草本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	アゼガヤツリ	○			
B	イ	○			
B	イヌゴマ	○			
B	イヌナズナ	○			
B	イヌビエ	fr			
B	エゾノギンギン	○			
B	オオバコ	○			
B	オモダカ	○			
B	カモガヤ	fr			
B	カワラスガナ	○			
B	キンエノコロ	fr			
B	ケキツネノボタン	○、fr			
B	コナギ	○			
B	コバギボウシ	○			
B	シマスズメノヒエ	○			
B	シロツメクサ	○			
B	セイヨウタンポポ	○			
B	セリ	○			
B	タカサブロウ	○			
B	チョウジタデ	○			
B	ツククサ	○			
B	トキンソウ	○			
B	ハキダメギク	○			
B	ヒメオトギリ	○			
B	ヒメクグ	○			
B	ヒメジョオン	○			
B	ヘラオモダカ	○		準絶滅危惧(NT)	
B	ミゾホオズキ	○			
B	ミチタネツケバナ	○			
C	キンミズヒキ	○			
C	ゲンノショウコ	○			
C	ダイコンソウ	○、fr			
C	ツチアケビ	○		絶滅危惧 I B類(EN)	
C	ツククサ	○			
C	ヌスビトハギ	○			
C	ノブキ	○			
C	ハエドクソウ	○			
C	フシグロセンノウ	○			
C	ミズヒキ	○			
C	ムカゴイラクサ	○			
D	アレチウリ	○			
D	イタドリ	○			
D	オオブタクサ	○			
D	ガガイモ	○			
D	カナムグラ	○			
D	カモガヤ	○			
D	クサオアカソ	○			
D	クサノオウ	○			
D	コセンダングサ	○			
D	コヒルガオ	○			
D	ツリフネソウ	○			
D	ハキダメギク	○			
D	ヒメジョオン	○			
D	ヒメムカシヨモギ	○			
D	ブタクサ	○			
D	ママコノシリヌグイ	○			
D	ムラサキエノコロ	○			
D	ムラサキツメクサ	○			
D	メヒシバ	○			
D	メマツヨイグサ	○			
D	ヨウシュヤマゴボウ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表. 調査地内で見られた生物種(木本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
C	ボタンヅル	○			
D	ヤマハギ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表. 調査地内で見られた生物種(昆虫)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	アカタテハ				
B	ウスバキトンボ				
B	エンマコオロギ				
B	オツネントンボ				
B	オンブバッタ				
B	キアゲハ				
B	クロアゲハ				
B	コノシメトンボ				
B	コバネイナゴ				
B	シオカラトンボ				
B	セイヨウミツバチ				
B	トゲカメムシ				
B	トラマルハナバチ				
B	ナキイナゴ				
B	ハラビロトンボ				
B	ヒメアカネ				
B	ヒメウラナミジャノメ				
B	ミヤマアカネ				
B	モンキチョウ				
B	モンシロチョウ				
C	アキアカネ				
C	アブラゼミ				
C	エダナナフシ				
C	オオアオイトトンボ				
C	ヒメアカネ				
C	ヒメジャノメ				
C	マユタテアカネ				
C	ミンミンゼミ				
C	モンシロチョウ				
D	アキアカネ				
D	アブラゼミ				
D	ウスバキトンボ				
D	オオカマキリ				
D	オニヤンマ				
D	オンブバッタ				
D	キオビツチバチ				
D	キタキチョウ				
D	クルマバッタモドキ				
D	クロオオアリ				
D	クロスズメバチ				
D	クロヒラタアブ				
D	コアシナガバチ				
D	コバネイナゴ				
D	コムシジ				
D	シオカラトンボ				
D	スジグロチャバネセセリ北海道・本州・九州亜種			絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)
D	スズバチ				
D	セイヨウミツバチ				
D	セグロアシナガバチ				
D	ツマグロバッタ				
D	ナツアカネ				
D	ヒメアカタテハ				
D	ヒメウラナミジャノメ				
D	ヒメギス				
D	ヒメコガネ				
D	ブチヒゲカメムシ				
D	ホソヒラタアブ				
D	ホソヘリカメムシ				
D	マメコガネ				
D	ミヤマアカネ				
D	ミヤマチャバネセセリ				
D	ミンミンゼミ				
D	ムネアカオオアリ				
D	ヤマトシジミ				
D	ヤマトフキバッタ				
ピオトープ	マツモムシ				
ピオトープ	ミズカマキリ				

表. 調査地内で見られた生物種(両生類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	ニホンアマガエル				
B	ヤマアカガエル				
C	ニホンアマガエル				
C	ヤマアカガエル				
D	ニホンアマガエル				

表. 調査地内で見られた生物種(爬虫類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
D	ニホントカゲ				
D	ヤマカガシ				

表. 調査地内で見られた生物種(鳥類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
B	コゲラ	c			
D	ウグイス	c			
D	ガビチョウ	v			
D	スズメ	v			
D	カワラヒワ	fl			
D	ヒヨドリ	c			

v:目視 c:地鳴き s:さえずり fl:飛翔 fd:採餌

表. 調査地内で見られた生物種(哺乳類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
C	ニホンアナグマ		自動撮影装置		
C	ニホンザル		自動撮影装置		
C	ニホンジカ		自動撮影装置		
C	ホンダギツネ		自動撮影装置		
C	ホンダタヌキ		自動撮影装置		